

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年6月3日 (2010.6.3)

【公表番号】特表2009-534131(P2009-534131A)

【公表日】平成21年9月24日 (2009.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2009-038

【出願番号】特願2009-506785(P2009-506785)

【国際特許分類】

A 6 1 J 7/00 (2006.01)

A 6 1 M 11/00 (2006.01)

A 6 1 J 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 J 7/00 F

A 6 1 M 11/00 D

A 6 1 J 7/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月14日 (2010.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬剤の計量投与に適した装置とともに用いる投与量カウンターであって、  
第 1 表示体支持面を有し、第 1 軸線回りに回転可能な第 1 カウント表示器と、  
第 2 表示体支持面を有し、第 2 軸線回りに回転可能な第 2 カウント表示器と、を備え、  
前記第 2 軸線は、前記第 1 軸線に対して鈍角を成して配置され、  
前記第 1 表示体支持面および前記第 2 表示体支持面は、薬剤投与量カウンターの少なくとも一部分をまとめて示すために、共通視認領域において整列する、投与量カウンター。

【請求項 2】

薬剤の計量投与に適した装置とともに用いる投与量カウンターであって、  
第 1 表示体支持面を有し、第 1 軸線回りに回転可能な第 1 カウント表示器と、  
第 2 表示体支持面を有し、第 2 軸線回りに回転可能な第 2 カウント表示器と、を備え、  
前記第 1 軸線および前記第 2 軸線は、互いに同軸、平行および垂直のいずれの形態でも配置されず、

前記第 1 表示体支持面および前記第 2 表示体支持面は、薬剤投与量カウンターの少なくとも一部分をまとめて示すために、共通視認領域において整列する、投与量カウンター。

【請求項 3】

前記第 2 カウント表示器上の回転開始要素と、  
前記第 1 カウント表示器上の回転追従要素と、をさらに含み、  
前記第 2 カウント表示器の回転によって、前記第 2 カウント表示器上の回転開始要素が前記第 1 カウント表示器上の回転追従要素に係合し、それにより前記第 2 カウント表示器の回転範囲に応じて前記第 1 カウント表示器が回転させられる、請求項 1 又は 2 に記載の投与量カウンター。

【請求項 4】

前記第 2 カウント表示器上の回転制限要素と、  
前記第 1 カウント表示器上の回転追従要素と、をさらに含み、

前記回転制限要素および前記回転追従要素は、前記第 1 カウント表示器の回転を防ぐために、前記第 2 カウント表示器の回転中に時々係合する、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の投与量カウンター。

【請求項 5】

前記第 1 カウント表示器上の回転開始要素と、

前記第 2 カウント表示器上の回転追従要素と、をさらに含み、

前記第 1 カウント表示器の回転によって、前記第 1 カウント表示器上の回転開始要素が前記第 2 カウント表示器上の回転追従要素に係合し、それにより前記第 1 カウント表示器の回転範囲に応じて前記第 2 カウント表示器が回転させられる、請求項 1 又は 2 に記載の投与量カウンター。

【請求項 6】

前記第 1 カウント表示器上の回転制限要素と、

前記第 2 カウント表示器上の回転追従要素と、をさらに含み、

前記回転制限要素および前記回転追従要素は、前記第 2 カウント表示器の回転を防ぐために、前記第 1 カウント表示器の回転中に時々係合する、請求項 1、2 又は 5 に記載の投与量カウンター。

【請求項 7】

第 3 表示体支持面を有するとともに第 3 軸線回りに回転可能な第 3 カウント表示器をさらに備え、

前記第 3 軸線は、前記第 1 軸線に対して鈍角を成して配置され、

前記第 1 および第 3 表示体支持面は、前記共通視認領域において薬剤投与量カウントをまとめて示すために、前記第 2 表示体支持面と組み合わせられて整列する、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の投与量カウンター。